

2024年第15週の報告です。

定点報告対象の疾患では、京都市右京区の **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** は定点当り報告数 5.8 件で今週も警報レベルが継続しています。そのほか、京都府全体の **RS ウイルス感染症** の報告数が第 12 週から少しずつ増加しており、今週は 1.87 件になりました。全数報告対象の感染症は、**結核** が 6 件、**百日咳** が 2 件報告されました。また、基幹定点の報告はありませんでしたが、眼科定点の報告として **流行性角結膜炎** が 3 件報告されました。

**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** は、学童期の小児に最も多いとされ、主に冬季および春から初夏にかけて流行が見られます。症状としては、発熱、咽頭痛の他、皮膚の発疹や舌がイチゴ状に赤くなる症状を呈することがあります。A 群溶血性レンサ球菌は上気道炎や化膿性皮膚感染症などの原因菌としてよくみられ、菌の侵入部位によって多彩な症状を引き起こします。さらに劇症型溶血性レンサ球菌感染症という重篤な病態を生じることもあります。

予防としては「手洗い」、「うがい」、「マスク」といった基本的な感染予防対策をしっかりと行ってください。